

作新学院大学
とちぎ学(人材育成と地域振興)
講義資料

地域経済の発展は人材育成から
—地域発展を担う栃木の人材育成—

開倫塾
塾長 林明夫

2022年1月5日(水)
第5時限 16:20~17:50

Q 1 : この講義では郷土を知り、郷土を愛し、郷土で活躍するための基礎知識の修得を目指します。
栃木県の特長は何ですか

A : (1) 日本最古の学校、足利学校がある県です。

- ① 足利学校の創設には、奈良時代・平安時代初期・鎌倉時代初期と様々な説がありますが、室町時代に関東管領上杉憲実が再興、江戸時代には徳川家康により近世の儒学の基礎となりました。
- ② 四書(論語・孟子・大学・中庸)や易教がさかんに研究され、3000名もの学僧(学問の僧)が学び、その教えを全国に広めたとされています。
- ③ フランシスコ・ザビエルによって、「日本国中最も大にして、最も有名な坂東のアカデミー」と紹介されました。
- ④ 江戸時代の精神的支柱となった儒学の精神は、江戸湯島聖堂と足利学校が徳川家康の命により学問的中心となったと伝えられています。

(2) 江戸時代末期に二宮尊徳(1787~1856)が活躍した土地です。

- ① 二宮尊徳は現二宮町を中心に県東・茨城県西部、日光地域を中心に活躍。
- ② 36歳から70歳まで34年間、栃木の農村づくりに励まれました。
- ③ 「積小為大」「分度推譲」など様々な教えを残しました。
- ④ 栃木県に近い埼玉県深谷市^{ちあらい}血洗村で育ち、近代日本の産業の父とも言われた「渋沢栄一」も足利学校で学び、また、二宮尊徳の教えを学んだと伝えられています。

(3) ① 栃木県は、栃木県議会議員、衆議院議員を務めた田中正造(1841~1913)が足尾鉍毒事件の解決のために奔走した土地です。

- ② 「余は下野の百姓なり」と、最後は谷中村の人々とともに農民救済運動に72年に及ぶ生涯をささげました。

(4) 栃木県人のまじめで誠実・実直、曲がったことはしない県民性は、足利学校の儒教の精神とそれを体現し、農村改革を行った二宮尊徳、足尾鉍毒事件で農村救済に一生を尽くした田中正造のDNAを引き継いでいるものと思われます。

(5) 我が郷里栃木県とはどのような県かと言えば、

- ① 日本最古の学問的中心地、足利学校の教えが江戸時代の基本的精神の儒教として全国に広まり、
- ② その儒教精神の体現者として二宮尊徳が生涯にわたって農村改革を行った土地、
- ③ 公害問題の原点である足尾鉍毒事件の解決のため、田中正造翁が生涯にわたって農民とともに歩んだ文化・伝統のある土地と言えます。

(6) 栃木県が東京都、愛知県に次いで、1人当たり都道府県民平均所得の多さ、2015年から4年続けて全国第3位となったのは、製造業の堅調もありますが、このような勤勉・実直・誠実で不正義を行わないという県民性によるものと考えます。皆様はどう思われますか。

Q 2 : では、ズバリお聞きします。仕事とは何ですか

A : (1) 仕事とは、「もの(製品)やサービスを提供すること」です。

* 「何を提供するか」(事業領域)

(2) すべての仕事には、「お客様(顧客)」がいます。

* 「顧客の定義」

(3) 仕事とは、お客様(顧客)にももの(製品)やサービスを提供することで、お客様(顧客)の問題解決に役立つことと考えます。

* 「顧客の問題解決」

(4) 同じようなお客様は、目の前にいるお客様以外にも世の中にたくさんいるとしたら、仕事は、ものやサービスを提供し、問題を解決することでお客様のお役に立つことと同時に、世の中のお役に立つことだと考えます。

* 仕事とは「顧客の役に立つこと」「世の中のお役に立つこと」



ちょっと一休み<コーヒースタンド>

「マーケティングの4P」と「各々のPの顧客に対する意味(4C)」とは

<マーケティングの4P>

<顧客にとっての意味(4C)>

(1) Product(製品・サービス)

…顧客の問題解決(Customer Solution)

(2) Price(価格)

…顧客のコスト・負担(Customer Cost)

(3) Place(場所・流通)

…顧客の利便性(Convenience)

(4) Promotion(販売促進・広報)

…顧客とのコミュニケーション(Communication)

Q 3 : 人は何のために働くのですか

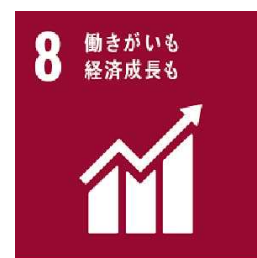
A : (1) 顧客のお役に立つため、世の中のお役に立つため

(2) 生活できるだけの収入を得るため

* 「ディーセント・ワーク」

(3) 仕事を通して「自己実現」するため

* 自己実現とは、自分の夢や希望を果たし、よく生きること



Q 4 : 仕事をしていて大変なことは何ですか

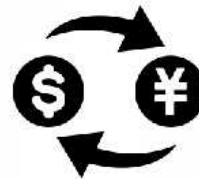
A : (1) 事業を取り巻く激しい環境変化に対応し、業務を遂行することです。

- ① コロナ禍
- ② 低頻度巨大災害
- ③ 経済危機
- ④ 為替の変動による産業構造の転換
- ⑤ 超少子高齢化
- ⑥ デフレの蔓延(長引くデフレ)



(2) 競争相手の絶えざる出現

- ① 同業他社
- ② 異業種
- ③ 海外からも



(3) 代替品の出現

(4) 生産性の低迷

$$\text{生産性} = \frac{\text{産出量 (OUTPUT) \cdots 顧客価値の創出 \cdot イノベーション \cdot 新規事業}}{\text{投入量 (INPUT) \cdots 適正化 \cdot 経費削減 \cdot 事業縮小}}$$

(5) では、どうしたらよいか

- ① コア事業を深化・継続
- ② 新規事業を創出・発展

} この2つを同時併行して「行い続ける」こと

* 「両利き経営」への挑戦



Q 5 : これからの社会とはどんな社会ですか。そこで求められる人材とは何ですか

A : (1) 「知識基盤社会」 …… 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(2) 「グローバル社会」 … 「多様な集団で交流する能力」

(3) 「課題山積社会」 …… 「自律的に活動する能力」



Q 6 : 学生時代に身につけておいたほうがよいことは何ですか

A : (1)小・中・高校で学んだすべての教科を「学び直し」、各学校の教科書をていねいに「理解」し、「定着させる(身につける)」こと。

(2)大学で学んでいるすべての教科をていねいに「理解」し、「定着させる(身につける)」こと。

(3)①小・中・高校と大学のすべての教科の内容は仕事をする上で、また、社会的な活動をする上で、人生をよく生きる上で一生役に立つからです。



②すべての教科書は決して処分しないで繰り返し学び直し、一生かけて学び直し、「理解」を深めることをおすすめします。

③特に、就職試験・採用試験や新しくものごとを学ぶときにはお役に立ちます。

(4)「学習の仕方」

①社会に出てからが勉強です。新しく学ばなければならないことが山ほどあります。

②「予習」「復習」「理解」「定着」「テストの受け方」

③「ノートの取り方」「ノートの整理」「ノートの活用の仕方」

*「仕事はメモで身につける」

④「発言・発表・議論」の仕方

*「チーム」での仕事の仕方

⑤学校時代の教科書・ノートの「学び直し」を基本とすること



ちょっと一休み<コーヒブレーク>

(1)「5S」を!

①「整理」(seiri) …いらぬものを処分する

②「清掃」(seisou) …きれいに掃除をする

③「整頓」(seiton) …ものは同じ場所に置く

④「清潔」(seiketsu) …①~③を保つ

⑤「躰」(shitsuke) …自分から進んで行く

(2)別の意味の「躰」も大事

①「美しい立居振舞い」…服装も大事

②「美しい言葉遣い」…「敬語表現を含む言葉遣い」

③「元気なあいさつ」…あいさつはこちらからする

(3)「読解力」—情報を正確、分析的に読み解く力—

①「語彙力(ごいりよく)」…辞書の使い方

②「新聞」を読んで「自分で考える力」「批判的思考能力」を身につける

③「読書」…これぞという「古典」をじっくり何回も読み、「思慮深さ」「自省心」「省察力」を身につける。—古典の作者との「時空を超えた対話」を一



Q 7 : 学力とは何ですか

A : (1) 「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」「自己教育力」

- ①自分や仲間のよいところ(潜在能力)をどんどん伸ばす力…チームプレイ(仕事はチームで行う)ー組織の潜在能力
- ②「価値(大切さ)」「意味(意味付け)」「秩序(仕事の手順・優先順位)」を考える
- ③「社会的使命(ミッション)」ーGood ancestor(よき祖先)と後の世に遺せるものは何か

(2)参考となる本

- ①内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマルク国の話」
- ②内村鑑三著「代表的日本人ー西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人」ともに岩波文庫
- ③ローマン・クルツナリック著「グッド・アンセスター わたしたちは『よき祖先』になれるか」
- ④スマホが好きな人は、スティーブ・ジョブズの伝記を、是非お読みください。

(3)「学力」を身に付けて得られるもの

- ①「多様な選択肢のある人生を歩むこと」
- ②「正常に機能する社会(持続可能な社会)の形式に貢献すること」
- ③「よく生きること」

(4)図書館で「辞書・新聞・読書」「PC」などを活用し、知的な人生を歩むこと

- ①大学図書館
 - ②公共図書館
- }を使いこなす能力
- ③「自分の図書スペース(読書スペース)」をもつこと…「机一つ」もつ幸せー一本棚に何を並べるか、本は何回読むかー
- *いざという時には「ハードな長時間自己学習」を！



Q 8 : 最後に一言、好きなことばを紹介してください

A : 私の好きなことば

- (1) 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」
- (2) 「練習で泣いて、試合で笑え」
- (3) 「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む)」



(4) 「独立自尊」

(5) 「スポーツの3つの宝」

- ・ 練習は不可能を可能にする
- ・ フェアプレイ
- ・ よき友



(6) 「会った人は、皆、友達」

(7) 「目には遠いが心は近い」

(8) 「人生逃げ場なし」

(9) 「持続する志」

(10) 「教育ある人とは、一生、勉強し続ける人」

(11) 「人生は青天井、一生青天井」

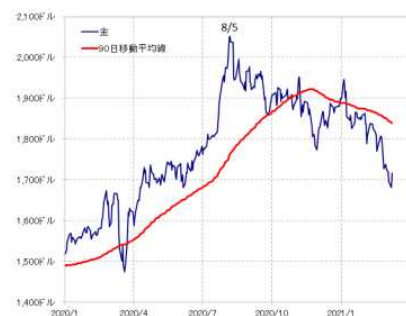
(12) 「一生勉強、一生青春」

(13) 「離見の見(りけんのけん)」

* 舞台上で踊っている自分を、離れた観客席から見る

(14) 「健康第一、心の健康、身体の健康」

(15) 「価値・意味・秩序」



感謝

御清聴ありがとうございました。心から感謝いたします。
御質問・御意見・コメントなど自由に御発言ください。